



# いのちを大切にしたい

カルロスさんの想いが広がっています

「農薬無しにコーヒーができるはずがない」と言われていた1980年代。

「いのちを大切にしたい」という想いを抱き、多くの困難を乗り越えてコーヒーの有機栽培を実現させたのがカルロス・フランコさん(2003年永眠)です。

「カルロスさんのコーヒー」という名称は、そのカルロスさんの功績を語り継ぐために名付けられました。

現在コーヒーは60カ国以上で栽培されていますが、途上国では、毎年数百万人が農薬中毒にかかり、死者は数十万人と言われています。

カルロスさんの想いはブラジル各地に広がり、近隣のポツソンド市では多くの生産者が有機栽培の認証を得て、ジャカランダ農場グループという形に発展しています。

カルロスさんの意志を引き継いだ生産者たちと共に、私たちも世界中に有機農法が広まることを願っています。



有機レギュラーコーヒー  
カルロスさんのコーヒー  
原産国: ブラジル  
内容量: 200g



(株)ウインドファーム